

横断的強化軸

ジェンダー主流化の推進： アフリカ地域におけるジェンダー平等と 女性のエンパワメント

現状と課題

- アフリカ地域においては、女性の無償の家事・ケア労働の負担、教育機会や保健医療サービスへのアクセスの欠如、経済的自立に向けた資源や機会の欠如、政治や意思決定の場への限定的な参画、ジェンダーに基づく暴力(ドメスティック・バイオレンスや性暴力、FGM(女性性器切除)、児童婚等)の蔓延等が、特に大きな課題となっている。

今後の取り組み方針

- ジェンダー平等や女性のエンパワメントを主要な目的とする協力と、それを主要な目的としていなくともジェンダーの視点に立った活動を統合した協力の形成を促進するとともに、既存の協力におけるジェンダー主流化の取り組みを推進する。

【社会】命を守る社会

強靱で包摂的な保険・医療システムの強化

- ✓ COVID-19対策を含む保健・医療支援におけるジェンダー視点に立った取り組み推進(母子保健、栄養改善、UHC)
- ✓ 水と衛生における女性のニーズを踏まえた対応 等

+
ジェンダー視点に立った
COVID-19対応の推進

【社会】生活を守る社会

持続的な社会基盤の構築

- ✓ 女子教育・STEM(科学・技術・工学・数学)教育の推進
- ✓ ディーセントワークにおける女性のニーズに基づく対応
- ✓ 地球規模課題への対応における女性の参画推進 等

【経済】強いアフリカ域内経済

域内統合の推進と魅力的なビジネス環境の構築

- ✓ 女性の経済的エンパワメント、女性起業家支援
- ✓ 男女が協働し共に便益を受ける農林水産業振興
- ✓ インフラ投資を通じた女性のエンパワメント推進 等

【平和】安心・安全な社会

強靱な社会の基盤となる平和構築と公正なガバナンス強化

- ✓ ジェンダーに基づく暴力(GBV)の予防、被害者の保護・社会復帰の支援(警察能力強化を含む)
- ✓ 平和構築におけるジェンダー視点に立った取り組み 等

+
パートナー国・機関との連携促進



貢献する SDGs



これまでのJICAの取り組み



女子教育: ニジェールの「みんなの学校」プロジェクトでは、女子の中退率の減少と進級率の向上のため、課外補修などの学力向上への取り組みとともに、地域社会や住民の意識変容を促す啓発活動などを実施。



母子保健: スーダンでは約6500名の助産師に対して研修を実施し、研修を受けた助産師の介助による安全なお産と政府雇用の助産師の増加による農村女性の社会進出に貢献。



ジェンダーに基づく暴力(GBV)への対応: GBV被害を受けたサバイバーの保護と自立・社会復帰を支援。写真は「女性に対する暴力撤廃の国際デー」のイベント(2021年)。



農業: ウガンダの農家の生計向上活動にジェンダー啓発研修を組み込み、女性の知識・スキルの向上と、伝統的な男女の役割分担の見直し、家族内の協力等を促進。



給水×平和構築: ウガンダのアチヨリ地域国内避難民の再定住促進のための給水事業において、給水施設の維持管理に女性の参加を促す取り組みや、水汲み労働に関する啓発活動を実施。



ビジネス支援: アフリカ女性のリーダーシップや起業・企業経営の能力強化、日本とアフリカの女性企業家の交流とネットワーク促進をはかることを目的に、2013年から「日アフリカビジネスウーマン交流セミナー」を実施。